

氏名	土 井 彰
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2470号
学位授与の日付	平成15年3月25日
学位授与の要件	医学研究科外科系耳鼻咽喉科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Blood vascular architecture of the palatine tonsil in the musk shrew (<i>Suncus murinus</i>): a scanning electron microscopic study of corrosion casts (スunksロ蓋扁桃の微小血管構築: 鋳型の走査型電子顕微鏡観察)
論文審査委員	教授 佐々木 順造 教授 筒井 公子 教授 竹居 孝二

学位論文内容の要旨

スunksは1対の口蓋扁桃を持っている哺乳動物である。今回私達は、スunksロ蓋扁桃の血管鋳型を作成し、走査型電子顕微鏡でその微小血管構築を観察した。細動脈は傍小節域よりリンパ小節内部に侵入し、粗な毛細血管網を形成していた。幾つかの細動脈は、円蓋部の上皮毛細血管網に達していた。スunksのこの円蓋部の上皮毛細血管網は、ヒトやウサギの口蓋扁桃に見られる様なヘアピン状あるいはスイッチバック状の形状を示さなかった。リンパ小節や円蓋部の毛細血管網はともに傍小節域にある毛細血管後細静脈に続いていた。この毛細血管後細静脈の鋳型の表面には、高内皮静脈の管腔に特徴的な卵形の圧痕が存在していた。この細静脈は口蓋扁桃基底部の太い静脈へと続いていた。スunksロ蓋扁桃の血管構築は哺乳動物の MALT (粘膜関連リンパ組織) と基本的に同じであった。

論文審査結果の要旨

本研究は原始的哺乳動物スunksの口蓋扁桃の微小血管構築を、樹脂を血管内に灌流して作製された血管鋳型を走査型電子顕微鏡観察することにより研究したものである。細動脈は傍小節域よりリンパ小節内部に侵入し粗な毛細血管網を形成するとともに円蓋部の上皮毛細血管網に達し、いずれの毛細血管網とも傍小節域にある毛細血管後細静脈 (高内皮静脈) に続いており、哺乳動物の粘膜関連リンパ組織 (MALT) の血管構築に類似していた。これらの結果よりスunksを扁桃領域等の医学実験動物として利用するための重要な知見が得られたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。